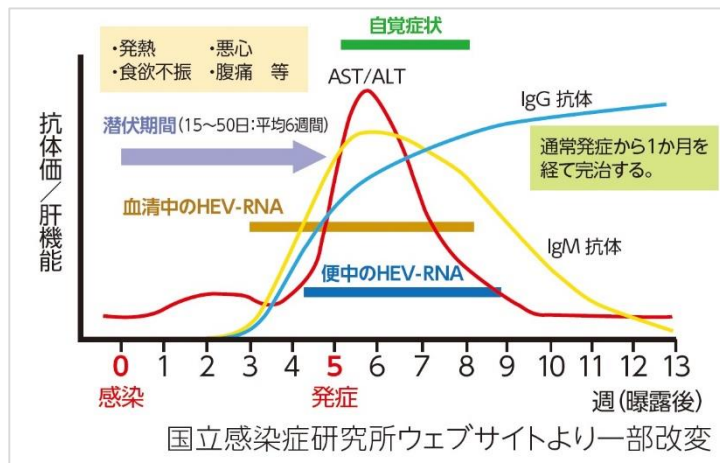


岩手県赤十字血液センター

E型肝炎は、経口伝播型のウイルス性急性肝炎で、その病原体はE型肝炎ウイルス（HEV）です。ブタ、イノシシ、シカの肉や内臓（レバーなど）を十分に加熱していないまま食べた際、E型肝炎ウイルスに感染することがあります。東日本からの発生報告が多く、都道府県別では北海道が最も多い。

<症状および経過>

- ・潜伏期間は平均6週間。
- ・感染した場合、大多数は無症候のまま治癒する。
- ・発症初期には軽度の発熱、食欲不振、悪心、嘔吐が数日間続き、腹痛、かゆみを伴う。
- ・黄疸、肝腫大が出現する。
- ・まれに、急性肝炎が重症化して劇症肝炎に至る場合があります、死亡例も見られる。



<輸血による感染>

輸血での感染は、国内では、初めて感染が確認された2002年から2017年までに27件報告されています。

今回、平成30年1月31日に開催された薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会において輸血によるHEV感染による死亡事例（80歳代女性）が報告されました。

<献血でのお願い>

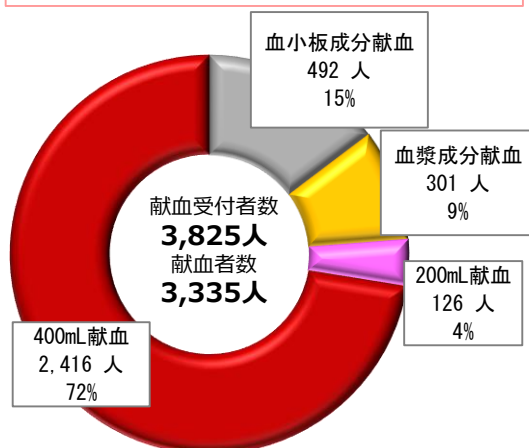
ブタ、イノシシ、シカの肉や内臓（レバーなど）を十分に加熱していないまま食べた際、E型肝炎ウイルスに感染し、そのことに気づかない場合があります。その状態の血液が輸血に使用された場合、患者さんがウイルスに感染してしまうおそれがあります。

ブタ、イノシシ、シカの肉や内臓（レバーなど）を生又は生焼けで
6カ月以内に食べた場合には、献血はご遠慮ください。

Data

岩手県の献血・供給状況（4月）

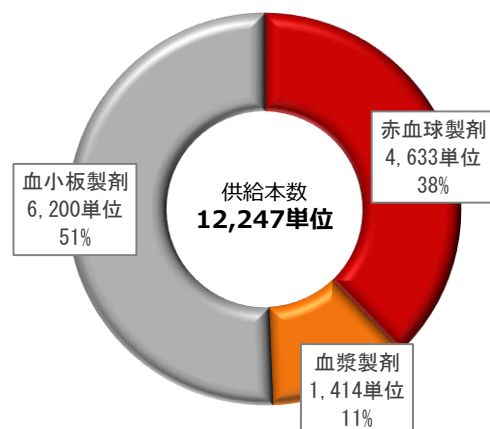
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**4,958本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**95.0%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

赤血球製剤は200mL換算で**4,633単位**の供給でした。

ホームページでも閲覧できます。H30年4月1日よりアドレスが変更になりました。
岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/>

Blood Information
ブラッド・インフォメーション
献血月刊情報